

2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月11日

上場会社名 MUTOHホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7999 URL <https://www.mutoh-hd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 磯邊 泰彦
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 福富 弘悦 TEL 03-6758-7100
 四半期報告書提出予定日 2020年8月31日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切り捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	2,653	△36.4	△458	—	△423	—	△493	—
2020年3月期第1四半期	4,169	△14.7	△67	—	△52	—	△90	—

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 △410百万円 (—%) 2020年3月期第1四半期 △166百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	△108.41	—
2020年3月期第1四半期	△19.79	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円		百万円		%
2021年3月期第1四半期	25,359		20,493		78.1
2020年3月期	26,869		21,113		75.9

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 19,799百万円 2020年3月期 20,386百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	35.00	35.00
2021年3月期	—				

(注) 当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定としております。

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染拡大による影響を現段階において適切かつ合理的に算出することが困難であるため、未定としております。

なお、今後、業績予想の開示が可能となった時点で速やかに公表するとともに、配当予想も公表する予定です。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	5,054,818株	2020年3月期	5,054,818株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	505,231株	2020年3月期	505,096株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	4,549,343株	2020年3月期1Q	4,550,034株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済環境は、新型コロナウイルス感染症の急速な世界的拡大の影響により各国で実施された移動規制や外出制限は、経済活動、雇用に重大な影響をもたらしており、大幅な景気後退の状況にあります。経済活動は段階的に再開されておりますが、効果的な治療薬やワクチンが開発されていない状況下、先行きは非常に不透明となっております。米国は外出規制の緩和を受けて、企業の景況感、雇用環境は下げ止まり傾向にありますが、依然低水準で推移し、本格回復には至っておりません。欧州においても景気は4月を底に上向きの兆しがありますが、雇用環境の悪化傾向は続いており、なお厳しい情勢です。中国は政府による活動再開の指示を受け企業が早期に操業再開したこともあり、直近の経済活動は上向いておりますが、急速な回復政策の反動が懸念されております。また、国内経済においては、非常事態宣言が解除された後は一時、持ち直し傾向にありましたが、再び感染が拡大する中、企業の設備投資、雇用に慎重な動きがみられ、再度の外出自粛要請が始まるなど予断を許さない情勢が続いております。あわせて、当第1四半期連結累計期間の平均為替レートは、前年同期に比べ米ドルで2.0%の円高、ユーロは4.0%の円高で推移しました。

このような状況のなか当社グループは、従業員の雇用を守りながら、生産調整、流通在庫の圧縮、保有資産の圧縮、不要不急経費の抜本的見直しなどキャッシュ・フローを重視した施策を推進して参りました。さらにコロナと共生下、稼ぐ、削る、防ぐ、の3つの視点で開発・製造・販売・働き方改革に取り組み、新常态下での新しい経営の姿を模索しています。

大判インクジェットプリンタ事業においては、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴いイベントの中止が相次ぎ、需要が大幅に落ち込んでおりますが、感染症対策としての店舗や施設内におけるサイン需要の対応、ウェブセミナー、バーチャル展示会やSNSを活用したマーケティング活動を積極的に展開し、需要創出に注力しております。加えて、新たな市場創出に向けて導入したブルーシステムにおいても、直接的な立会い確認を避ける新たな運用形態として、印刷会社の工場もしくは営業所と顧客の拠点に同じシステムを導入してリモートでブルー運用する事例も出てきており、今後のウィズコロナ時代の新たなスタイルとして広がりが期待できます。

3Dプリンタ並びに設計計測機器においては、従来の商流での販売活動減退を補うためにインターネット販売に注力し、コロナ禍での工学系学生の在宅学習向けに製図機器の需要の高まりもあり、成果が現れております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は、新型コロナウイルスの世界的感染拡大の影響による経済活動制限の影響を強く受け、販売が減少したことに加え、為替のマイナス影響により、26億53百万円（前年同期比36.4%減）となり、営業損益は販管費を前年同期に比べ2億43百万円削減したものの、販売減の影響に加え、為替のマイナス影響により、4億58百万円の損失（前年同期は67百万円の損失）となりました。経常損益は、受取利息および為替差益等の計上により、4億23百万円の損失（前年同期は52百万円の損失）となりました。親会社株主に帰属する四半期純損益は、特別利益で投資有価証券売却益5百万円、特別損失で減損損失40百万円、税金費用19百万円その他の計上により、4億93百万円の損失（前年同期は90百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産は253億59百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億9百万円の減少となりました。

流動資産は142億30百万円となり、14億89百万円の減少となりました。その主な要因は、現金及び預金の減少9億40百万円、受取手形及び売掛金の減少6億17百万円等であります。

固定資産は111億29百万円となり、20百万円の減少となりました。その主な要因は、建物及び構築物の減少28百万円、工具器具及び備品の減少4百万円、無形固定資産の減少18百万円、投資有価証券の増加34百万円、繰延税金資産の減少3百万円等であります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は48億66百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億90百万円の減少となりました。

流動負債は34億25百万円となり、9億50百万円の減少となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金の減少9億57百万円、賞与引当金の減少83百万円、未払金の減少39百万円、未払法人税等の減少1億8百万円、その他流動負債の増加2億41百万円等であります。

固定負債は14億41百万円となり、60百万円の増加となりました。その主な要因は、退職給付に係る負債の増加15百万円、役員退職慰労引当金の減少31百万円、その他固定負債の増加71百万円等であります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は204億93百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億19百万円の減少となりました。その主な要因は、配当金の支払い1億59百万円と親会社株主に帰属する四半期純損失4億93百万円の計上による利益剰余金の減少6億52百万円、その他有価証券評価差額金の増加46百万円、退職給付に係る調整累計額の増加11百万円、非支配株主持分の減少32百万円等であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループを取り巻く経営環境は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う各国政府による移動制限や休業措置などにより世界的に経済活動が大きく縮小しているなか、調達・生産・販売・物流の大幅な遅延や停滞のリスクにさらされております。

現時点において、これらの要因による事業活動や業績への影響について、解消される時期を合理的に予測することが困難であり、2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染拡大の影響を適正かつ合理的に算出することが困難であるため、未定としております。

なお、今後、業績予想の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,472	6,532
受取手形及び売掛金	2,871	2,253
商品及び製品	3,145	2,871
仕掛品	46	57
原材料及び貯蔵品	1,441	1,755
その他	781	805
貸倒引当金	△39	△46
流動資産合計	15,719	14,230
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,890	1,861
機械装置及び運搬具(純額)	51	55
工具、器具及び備品(純額)	54	50
土地	2,450	2,452
リース資産(純額)	48	37
有形固定資産合計	4,496	4,457
無形固定資産		
その他	569	551
無形固定資産合計	569	551
投資その他の資産		
投資有価証券	5,576	5,611
差入保証金	31	32
退職給付に係る資産	265	270
繰延税金資産	194	191
その他	20	18
貸倒引当金	△4	△3
投資その他の資産合計	6,083	6,120
固定資産合計	11,149	11,129
資産合計	26,869	25,359

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,489	1,532
未払金	449	409
未払法人税等	169	61
賞与引当金	163	79
製品保証引当金	142	139
その他	961	1,203
流動負債合計	4,375	3,425
固定負債		
繰延税金負債	122	127
退職給付に係る負債	1,040	1,056
役員退職慰労引当金	37	6
その他	179	251
固定負債合計	1,381	1,441
負債合計	5,756	4,866
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,199	10,199
資本剰余金	3,064	3,064
利益剰余金	10,792	10,140
自己株式	△1,323	△1,323
株主資本合計	22,732	22,079
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△98	△52
為替換算調整勘定	△1,988	△1,980
退職給付に係る調整累計額	△259	△247
その他の包括利益累計額合計	△2,346	△2,280
非支配株主持分	726	694
純資産合計	21,113	20,493
負債純資産合計	26,869	25,359

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	4,169	2,653
売上原価	2,786	1,904
売上総利益	1,382	748
販売費及び一般管理費	1,450	1,207
営業損失(△)	△67	△458
営業外収益		
受取利息	5	9
受取配当金	7	6
為替差益	4	15
持分法による投資利益	—	0
その他	3	5
営業外収益合計	20	38
営業外費用		
支払利息	0	1
売上割引	0	0
持分法による投資損失	4	—
その他	0	1
営業外費用合計	5	3
経常損失(△)	△52	△423
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	0	5
特別利益合計	1	5
特別損失		
固定資産廃棄損	0	—
投資有価証券評価損	22	—
減損損失	—	40
特別損失合計	22	40
税金等調整前四半期純損失(△)	△73	△458
法人税等	17	19
四半期純損失(△)	△91	△478
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1	14
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△90	△493

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純損失(△)	△91	△478
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9	27
為替換算調整勘定	△103	8
退職給付に係る調整額	24	11
持分法適用会社に対する持分相当額	△6	19
その他の包括利益合計	△75	67
四半期包括利益	△166	△410
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△170	△427
非支配株主に係る四半期包括利益	4	17

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。